

日本音楽表現学会

第6回(ベル・ジーリオ)大会要項

期 日：2008年6月14日(土)～15日(日)

会 場：昭和音楽大学新百合ヶ丘キャンパス

日本音楽表現学会第6回（ベル・ジーリオ）大会プログラム

6月14日（土）	12:30	開場・受付	1F西口ロビー
	13:00	開会式	C-511
		オープニング	昭和音楽大学電子オルガンカルテット
		ごあいさつ	中村 隆夫 日本音楽表現学会会長 下八川 共祐 昭和音楽大学理事長 高田 俊治 ベル・ジーリオ大会実行委員長 本山 節彌氏
	13:15-14:15	基調講演	
「大きな木」を若者とともに見つめて—高校生の演劇センスと音楽性—			
	14:20-15:10	コンサート	コンチェルト デル ベル・ジーリオ
	15:20-16:20	総会	(当日資料配付)
		1. 開会の辞	
		2. 議長選出	
		3. 報告	(1) 2007年度事業報告 (2) 第5回（火の国）大会決算報告 (3) 2007年度会計報告・監査報告 (4) その他
		4. 協議	(1) 2008年度事業計画（案）について (2) 第6回（ベル・ジーリオ）大会予算について (3) 2008年度予算（案）について (4) 第7回大会開催候補地について (5) その他
		5. その他	
	16:30-18:00	分科会Ⅰ	A-311、312、316
	18:30-20:30	懇親会	PIZZARIA Liana（新百合ヶ丘駅南口 りそな銀行階下 Tel. 044-953-2520）
6月15日（日）	9:00	受付	西口ロビー
	9:15-10:45	分科会Ⅱ	A-311、312、316
	11:00-12:30	分科会Ⅲ	A-311、312、316
	13:30-15:00	分科会Ⅳ	A-311、312、316
	15:15-16:45	分科会Ⅴ	A-311、312、316
	16:45-17:00	閉会	A-311、312、316

オープニング：ヘンデル（ハーティ編曲）「水上の音楽」より“ホーンパイプ”

本学の電子オルガンカルテットの特長は、そのために特別に編曲されたパート譜を用いて演奏するのではなく、スコアリーダーイング奏法、すなわち指揮者と同じオーケストラスコアを見て演奏することにある。スコアの分担は、原則的に観客からみて左端の楽器が木管、続いて高弦、低弦、右端が金管パートを受け持っている。

指揮：谷口雄資 電子オルガン：千葉祐佳（学3）、渋谷琴美（学3）、海野小百合（短2）、水野史織（学1）

（阿方 俊）

分科会プログラム

分科会Ⅰ 6月14日(土) 16:30-18:00

A-311 研究発表.....司会 大槻 寛

狭間 由香 鍵盤ハーモニカ—その魅力と可能性—

阿方 俊 チェンバー・インプロビゼーションの試み その1
—昭和音楽大学におけるグレイソン・メソッドの実践—

A-312 研究発表.....司会 水戸 博道

疇地 希美 幼児の歌うタツカのリズム—日英3~5歳児の比較—

加藤 晴子 子どもの歌の表現に潜在する伝統的感覚—「物売りの声」の実践を例に—

A-316 共同研究.....司会 草下 實

新山王政和+藤原麻里 専門教育以外の合唱活動における発声指導の有用性とその効果
—高校合唱部員を対象とした実験的指導とその検証に基づいて—

分科会Ⅱ 6月15日(日) 9:15-10:45

A-311 研究発表.....司会 山名 敏之

深井 尚子 2楽章形式のピアノソナタの比較から見たベートーヴェン後期作品群の特徴の考察

上山 典子 リストとピアノ編曲—年代別にみる目的、用途、手法の変遷—

A-312 研究発表.....司会 應和 恵子

鳶 晴子 歌を歌う人の声や喉の不調とその原因

—音楽を勉強する大学生やアマチュア合唱団員への質問紙調査を通して—

土門 裕之 学生ミュージカル公演等におけるキャスト用ピンマイク使用に関する—考察

A-316 パネル・ディスカッション.....

音楽における異文化受容4—宗教の視点から—

司 会 佐々木正利

パネリスト 嶋津 宣史

福本 康之

安田 寛

分科会Ⅲ 6月15日(日) 11:00-12:30

A-311 研究発表.....司会 小畑 郁男

安田 香 戦時下のドビュッシー (仮題)

阿部亮太郎 松村禎三《管弦楽のための前奏曲》に於ける聴覚の関心の移動について

- A-312 研究発表司会 林 睦
 伊達 優子 保育者養成校における音楽的自立を促すピアノ教育―「my 楽譜」作成の試み―
 藤田 光子 教員養成校における学生の評価経験に関する取り組み
 ―学生の模擬指導と評価活動より―
- A-316 ワークショップ司会 伊野 義博
 鷲尾 惟子 中国新疆・ウイグル人の民間音楽に見る多様性と表出
 ―民間歌曲と民間舞踊を中心に―
- 分科会Ⅳ 6月15日(日) 13:30-15:00
- A-311 研究発表司会 斎藤 武
 河本 洋一 オノマトペを使った歌唱表現―声でどこまで出来るか―
 寺内 大輔 他者に聴かれることを意図しない音楽の可能性―寺内大輔の3作品と実践より―
- A-312 VTR デモンストレーション司会 中村 隆夫
 本山 節彌 高校演劇「大きな木」のビデオ上演
- A-316 ワークショップ司会 吉永 誠吾
 山田 克己 音楽を存分に取り入れた保育とは
- 分科会Ⅴ 6月15日(日) 15:15-16:45
- A-311 研究発表司会 菅 道子
 鈴木慎一郎 文部省『師範音楽 本科用巻一』(1943)に掲載された既成の曲
 ―《夏は来ぬ》を中心に―
 杉江 淑子 学校音楽教育における音楽教材の多様化とその課題
 ―中学校教師への質問紙調査から読み取る「音楽の学校教育化」―
- A-312 研究発表司会 斎藤 祐
 松本 直子 公立小学校における新1年生の音楽的成長と発達に関する一考察
 橋本 悦子 創造的音楽表現に関する問題提起
 ―雅楽器の表現活動とその舞台づくりを振り返って―
- A-316 ワークショップ司会 北山 敦康
 中村 隆夫 音取りをしない合唱